



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「国際会計基準 (IFRS) を勉強しよう」

監事 平田健二

会計制度が大きく変わります。経理屋に任せておけば良いと言わず、この機会に即席経理屋になりませんか！！
 今、会計システムは世界システムへの整合に向け収斂中です。EUでは域内各国の連結財務諸表の採用を義務付けており、全世界で現在100カ国以上が採用しています。先進国では米国と日本の進行がやや遅れていますが、いつれ追いつかねば世界との取引が出来なくなります。現在日本の会計基準と国際会計基準との間で重要な差があるのは26項目で、2011年6月までに差異を解消すべく動いています。

日・米と国際基準の間に差が生じた理由は、日本の会計は企業家と税金屋の為にあり、米国は投資家保護最優先が国策である為、中立の国際会計基準への統合に時間を要した、と想定される。

日本の会計基準への影響は 企業活動のグローバル化に伴い、海外での資金調達や投資の為に対象企業の評価基準として、国際会計基準が必要となる。連結制度重視の導入 キャッシュフロー計算書の財務諸表への組み込み 棚卸資産の簿価評価から時価評価へ移行 税効果会計(税の支払いに関係なく、決算期に支払うべき租税課金計上を義務付け) 保有株式の時価評価 会計方針、会計上の見積り変更および誤謬 後発事象等・・・思いつくまま列記したが、在来の考え方と大きく変わり、これを実施することで業績に影響する項目があり、今後注視して下さい。

01月度理事会より (第84回 1月27日)

1. 第9期(22年度)事業計画 / 審議・承認	5. H21年分源泉徴収の合計表 / 事務局報告・了承
2. 理事検討会開催の件 / 概要を含め承認	6. H21年度収支成行 / 事務局報告・了承
3. 第16回会員連絡会開催の件 / 審議・承認	7. HP検討会中間報告 / 事務局報告・了承
4. 宿泊費支給規定 / 一部修正の上承認	第1回: 1/14 実施 第2回: 2/4 予定
22年1月27日付けで発効。	8. 各事業部会成行報告

事業報告 「新風亭・New Life Club(NLC)」

担当役員 佐立理事

本会は主に定年近くの方々に参加いただき、「これからを考える会」として平成20年1月にスタートしました。定年後、何をするか、やりたいことは何か、新しい事業などを議題に、昨年10月までに月次会議、外部の方々との意見交換会、勉強会等、計約20回開催しました。主なテーマは「工場の新しい安全管理方法の普及」、「数学の本の出版」、「SAP(高吸水性樹脂)の新しい適用分野」、「CO2削減・省エネへの参画」等を議論してまいりました。

会員約20名でスタートしましたが、多くの方々は「地元への地域活動へ」、「新たな会社へ」、「趣味の世界へ」などに、活躍の場を見つけられ、昨年10月には会員が6名になりました。6名のうち4名はSEF会員でもあり、新事業探索は業務支援事業部会に移行することにいたしました。皆様の今までのご協力に感謝しますとともに、新しい事業に挑戦したい方は業務支援事業部会に参加願います。

SEFサロン 第55回報告 (10/01/27)

担当 水嶋会員

講師：宮家準氏 (慶應義塾大学名誉教授, 文学博士) 演題: 「いのち」と「こころ」=死を見つめて今を生きる=
 <講演要旨>

教義、儀礼等を整えた実体を持つ送り手の宗教である従来の成立宗教に対し、諸宗教を習合・併用した形で受けとめて生活を営んでいる人々の民俗宗教(人間の生活様式の一面としての宗教)が台頭してきている。即ち、日本の伝統的な葬儀では、死者の靈魂を他界に送ることに重点が置かれたが、近年は死者を偲び、その志を継承することを誓う会の形式に展開している。

現代の死は8割が病院死で、ターミナルケアが求められている。そこでは、自己の靈性に目覚め、最後の生を個性的に充実させ、自分なりの死の設計をするよう導いている。これは修業や巡礼の理想とされる自然法爾、如実知自身の悟りに通じる。少子高齢化が進み、孤独死が増加している現在、身寄りのない老人達が晩年を共に過ごし、共に葬られる協同墓が作られている。また葬儀を死者の生前の意志に委ねる意識が芽生え、散骨、木葬、宇宙葬等の新しい葬法や供養法が現れてきた。

以上が博士のお話の要旨であるが、現代日本人が社会的習俗として半ば無意識に受け入れている生(誕生及び成長)の儀礼と、死(葬儀及び祖霊化)の儀礼と構造とを比較して、背景を宗教的・民族学的に解説されたが、その独創性に聴衆は感嘆した。

SEFサロン 次回開催案内 (第56回)	
<p>日時： 3月24日(水)18時より</p> <p>場所： 青学会館内、レストラン・フィリア</p> <p>講師： 松井清治氏</p> <p>講師経歴： 東京外国語大学(スペイン語科)卒 元三菱商事・業務部 ポルトガル、ブラジル等海外赴任が長く、海外出張地域は多岐に亘る。</p> <p>演題： 未定</p> <p>講演内容： ポルトガルを概観して、日本との交流、南蛮文化の渡来について</p>	
01月度会員動向	
<p>正会員入退会</p> <p style="text-align: center;">< 移動無し ></p>	<p>01月末現在の会員数</p> <p>正会員 36名 準会員 36名</p> <p>賛助会員 3社</p>